

あとがき

滋賀医科大学医学部は、昭和49年10月に開学し、翌年の昭和50年4月に第一期生が入学しました。以来43年間にわたり、単科の医科大学として、地域の特徴を生かしつつ、信頼される医療人の育成に取り組んできました。これまでに、医師、看護師、保健師、助産師など約五千名の医療人が滋賀医科大学を巣立っており、彼らは滋賀県を中心とした地域で積極的に活躍しています。さらに、世界に情報を発信する研究者の養成を使命として、医学教育や研究を行うことができる大学環境を整備し、数多くの研究者を育て世界に情報を発信してきました。

医学教育をさらに実りあるものにするためには、我々が行っている教育内容全般を検証し、評価し、改善していくPDCAサイクルが継続して回っていることが必要です。

滋賀医科大学では、今回の医学教育分野別認証評価を医学教育の改善のための良きトリガーとして位置づけ、医学科を構成するすべての教授の参加による医学教育分野別評価ワーキンググループを作り、学長のリーダーシップのもと、現在の教育システム、カリキュラム、行われた教育を評価するシステム、教育を改善するシステムなどを含め、様々な教育改革に取り組んできました。また、自己点検評価報告書や根拠資料の作成には、教員だけでなく事務職員もメンバーとして参加し、学生の意見を積極的に取り入れながら、全学を挙げて作成しました。

今回の医学教育分野別認証評価の受審をきっかけに教育改革への取り組みは加速しましたが、日々、進歩する国際水準の医学教育に対応すべく教育改善は、今後も継続して遂行されなければなりません。今回の取り組みが、教職員の教育に対する意識改革をもたらし、次の世代へ継続する教育改革への第一歩になったものと確信しています。

最後に報告書作成にあたり御協力いただいた教職員、学生、卒業生など関係者に心より感謝申し上げます。

平成29年8月

教育・広報・渉外等担当理事 副学長
山 田 尚 登

【医学教育分野別評価委員会 名簿】 (敬称略)

委員長 山田 尚登
副委員長 松浦 博、伊藤 俊之
事務責任者 加藤 克典
湯浅 賢一、大岩 輝美、衣川 絵理伊

AREA担当者 (◎：責任者 ○：副責任者)

1. ◎村田 喜代史、○河内 明宏
目良 裕、小島 秀人、西 英一郎、向所 賢一、浅井 清美
2. ◎宇田川 潤、○今井 晋二
縣 保年、相浦 玲子、木村 文則、園中 輝昭
3. ◎安藤 朗、○古荘 義雄
一杉 正仁、山本 学、今枝 広丞、園田 郁子
4. ◎杉原 洋行、○室寺 義仁
久津見 弘、江口 豊、丸尾 良浩、辻 喜久、上野 市太郎、後藤 範夫
5. ◎平田 多佳子、○谷 眞至
勝山 裕、野崎 和彦、清水 猛史、富岡 昌邦
6. ◎大路 正人、○北川 裕利
醍醐 弥太郎、漆谷 真、小島 隆次、埜田 和史、中村 俊弘、伊藤 太郎
7. ◎村上 節、○九嶋 亮治
兼重 努、扇田 久和、寺田 智祐、成田 充弘、林 修平
8. ◎田中 俊宏、○等 誠司
前川 聡、堀江 稔、川崎 拓、佐野 進、西田 義行
9. ◎小森 優、○後藤 敏
永田 啓、三浦 克之、浅井 徹、杉本 喜久、辻 信造



医学教育分野別評価基準日本版 V2.11 に基づく

滋賀医科大学医学部医学科

自己点検評価報告書

平成 29 年 8 月発行

滋賀医科大学

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

<https://www.shiga-med.ac.jp>